

テレワーク推進センターと
イノベーション人材マッチング支援センター
の活用について

テレワーク推進センターについて

「テレワーク推進センター」で実現可能なこと

コワーキングスペースでのテレワーク活動

約450坪の広さを誇る「REDEE 北九州イノベーションセンター店（<https://reddee-kitakyushu.jp/>）」の一部エリアをコワーキングスペースとして開放し、老若男女問わず全世代の新たな挑戦を支援します。高速Wi-Fi・コンセントはもちろん、カフェテリアなどを完備しています。また、多目的スタジアムを活用した交流会やセミナー、勉強会などの情報提供、ビジネスマッチングの機会を創出します。その他、駐車場利用など、大型施設ならではの会員特典を多数用意しています。



セミナーの実施

動画編集などテレワークで活動ができる事業のセミナーを開催します。企画作成から素材準備、編集、書き出しまでを一環して行い、クリエイター体験が可能なイベントを実施しております。



「テレワーク推進センター」

テレワーク推進センターでは、女性の社会進出などの伴走支援に注力しています。



官民連携による企業・労働者のテレワーク導入を促進することはもちろんのこと、特に注力する取り組みとして「女性活躍支援」を推進しています。

市内でも人口が多い八幡西区においては、コワーキングスペースが圧倒的に不足しており、オフィスでも自宅もない第三の仕事環境（サードプレイス）の需要を満たせていない状況です。折尾地区では、背後圏の人口増加傾向、学生の多さなどが県内トップクラスであるにも関わらず、自由に仕事ができるランドマーク施設が存在しません。

これらの背景を踏まえ、テレワークを用いた「仕事」と「家庭」が両立できる環境の提供や仕組みづくり、SNSなども用いた起業支援などを行っています。これらの取り組みを通じ、テレワークによる就業を希望する方と企業がWIN-WINとなる社会の仕組みづくりを促進しています。

さらに、女性活躍支援を切り口とした、KICで実施される他の事業とのコラボレーション、市内の関係機関（例：ウーマンワークカフェなど）との連携などにより、北九州市の目指すビジネスがしやすい環境づくり・移住促進・関係人口創出の実現を目指します。

テレワークに関わる支援制度のご案内

支援制度

テレワーク総合ポータルサイト

総務省及び厚生労働省では、テレワークに関連する情報を一元化した「テレワーク総合ポータルサイト」を開設しています。

このサイトでは、テレワークの導入・活用に向けた各種情報を掲載しています。

【主な掲載情報】

- ・テレワークに関する基本情報
- ・イベント・テレワーク導入支援
- ・輝くテレワーク賞
- ・事例紹介
- ・関連情報・資料



自営型テレワークに関する総合支援サイト「HOME WORKERS WEB」

厚生労働省では、自営型テレワークに関する総合支援サイト

「HOME WORKERS WEB（ホームワーカーズウェブ）」を開設し、自営型テレワークを始めたい方やすでに始めている方々、さらには自営型テレワークの発注者や仲介事業者向けに、情報提供やセミナー開催相談対応を行っています。

【主な掲載情報】

- ・自営型テレワークとは
- ・セミナー・イベント情報
- ・自営型テレワークを学ぶ(Eラーニング)
- ・事例紹介



支援制度

テレワーク助成金

良質なテレワークを制度として導入し、実施することにより、労働者の人材確保や雇用管理改善等の観点から効果をあげた中小企業事業主を支援する助成金についてご案内です。

助成となる対象

- 労働者がテレワークを実施しやすい職場風土作り
- 就業規則・労働協約・労使協定の作成・変更
- 外部専門家によるコンサルティング
- 労務管理担当者に対する研修
- 労働者に対する研修



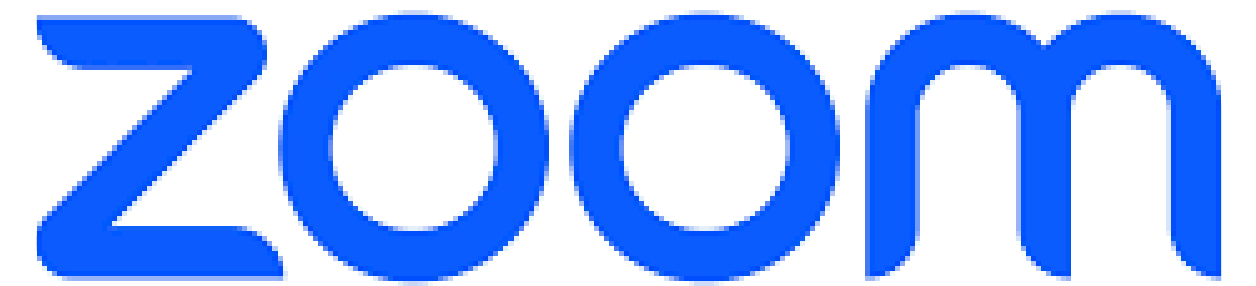
Web会議の体験

Web会議の体験

ZoomやGoogle Meetを活用したWeb会議の体験

センターではZoomやGoogle Meetを活用したWebの体験が可能です。そもそも会議には「Web会議」の他に「テレビ会議」があります。テレビ会議とは、専用機器と専用の回線を用いて利用する据え置き型の会議システムのことです。据え置き型のため機器を設置した場所からしか利用できませんが、専用端末での接続となるので解像度が高く、臨場感のあるオンライン会議を実現したシステムになります。一方Web会議は専用機器と専用の回線を必要としないため、どこからでも利用することができるメリットがあります。なのでテレワークではWeb会議の活用が多く見受けられます。

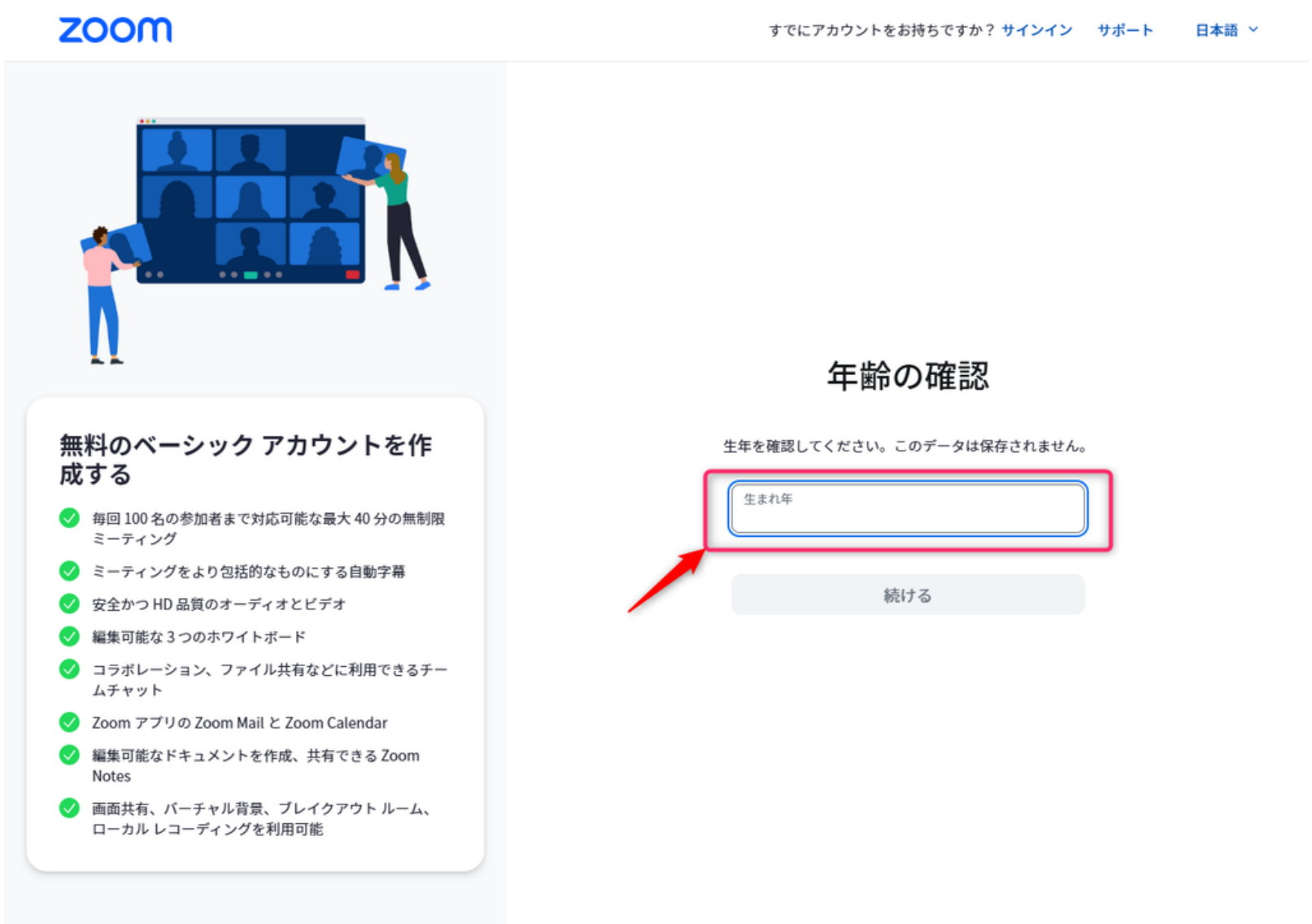
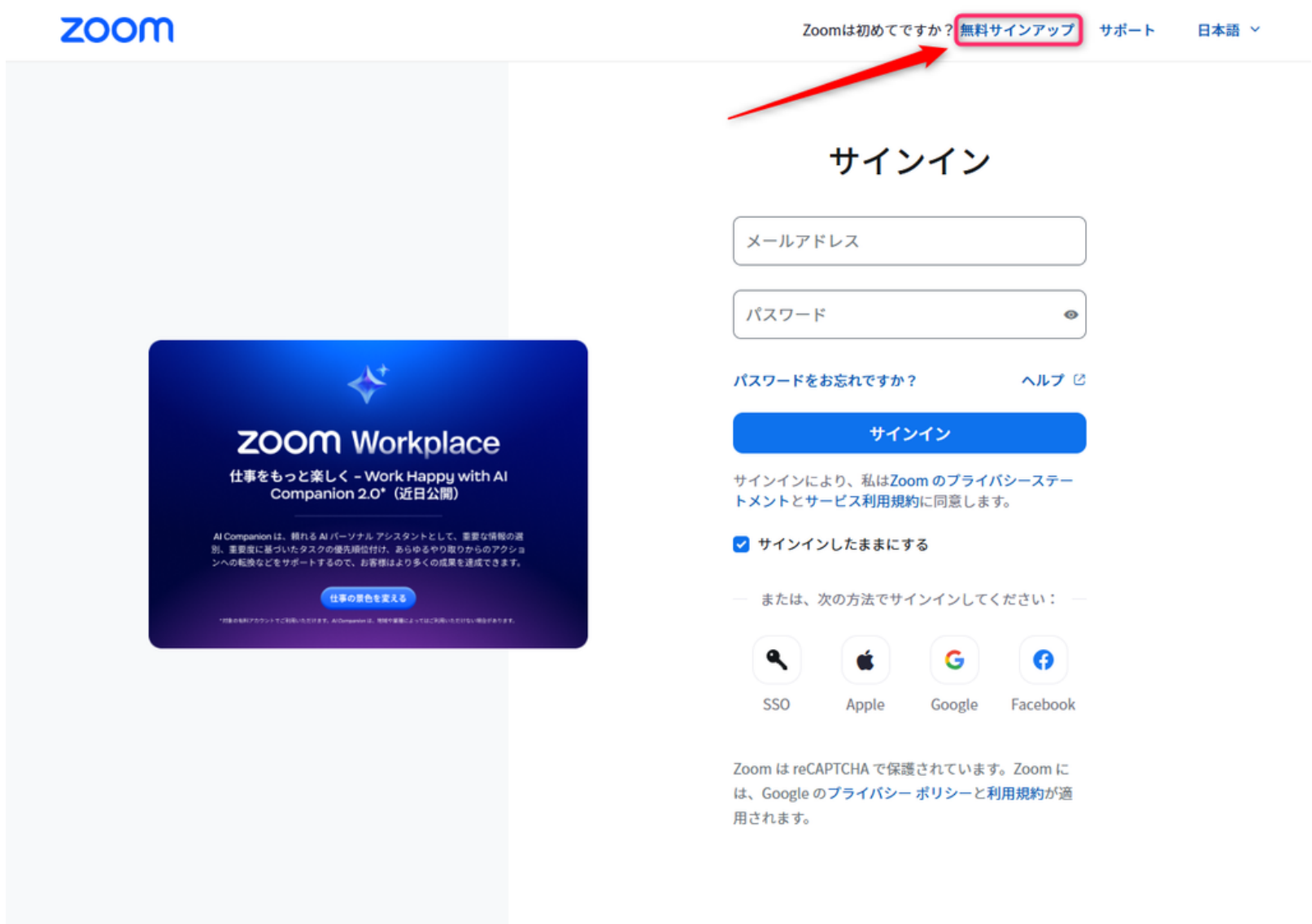
Web会議に必要な準備物のレクチャーや会議の方法などをセンターにて実施することが可能です。

The Zoom logo, consisting of the word "zoom" in a bold, blue, lowercase sans-serif font.

Zoomの体験　ーアカウントの作成ー

Zoomを利用するためには、まずアカウントの作成が必要です。アカウントの作成はウェブブラウザから簡単に行えます。Zoomの公式サイトにアクセスし、「無料でサインアップ」をクリックします。

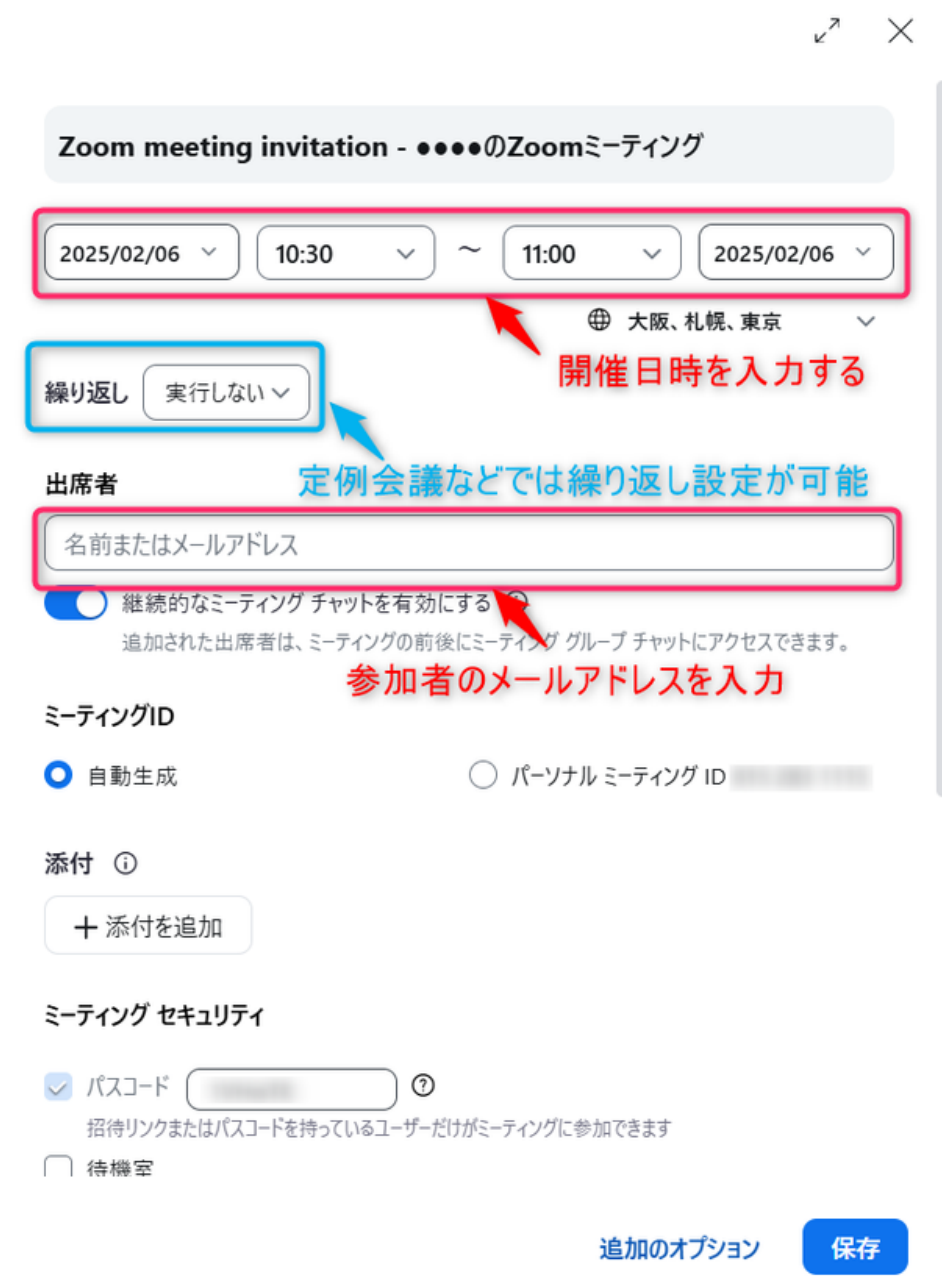
登録したメールアドレス宛に認証コードが届くので、6桁の認証コードを入力し、「認証」をクリックします。基本情報として、名前とパスワードを設定して、続けてください。初期設定を終えてテストミーティングの画面が出たら登録完了です。なお、GoogleやFacebookのアカウントを持っていれば、連携させるだけでアカウント作成も可能です。



Zoomの体験　ーミーティングの設定ー

Zoomデスクトップアプリを起動したら、画面上部の「新規ミーティング」または「スケジュール」ボタンから会議を作成できます。

参加者の管理方法として、入室時のカメラのオンオフや、入室時にパスコードを求めたり、待機室を設けたりと、様々な設定が可能です。



Zoomの体験 —ミーティングの設定—

会議室の設定で重要なのは以下の項目です。

追加された出席者は、ミーティングの前後にミーティング グループ チャットにアクセスできます。

ミーティングID

☒ 自動生成 ☐ パーソナル ミーティング ID

添付 ①

+ 添付を追加

ミーティング セキュリティ

☒ パスコード ?

招待リンクまたはパスコードを持っているユーザーだけがミーティングに参加できます

☐ 待機室

ホストに許可されたユーザーだけがミーティングに参加できます

ビデオ

ホスト: オフ ☐ 参加者: オフ ☐

オーディオ

☒ コンピュータオーディオ

カレンダー

☐ Outlook ☒ Google カレンダー ☐ 他のカレンダー

追加のオプション

保存

「ミーティングID」は、自動生成されるランダムな番号を使用するか、個人ミーティングIDを使用するかを選択できます。

定期的な会議では、個人ミーティングIDの使用が便利です。また、セキュリティ対策として、必ずパスワードを設定しましょう。

自動生成されたものをそのまま使用するか、必要に応じて変更できます。

「待機室」は、参加者を一旦待機室に入室させ、ホストが確認してから本会議室に入室させる機能です。セキュリティを重視する場合は有効にしておくのをおすすめします。

参加者を招待するには、「招待」ボタンをクリックします。表示される招待URLをコピーすれば、メールやチャットで参加者に共有可能です。

招待URLには、ミーティングIDとパスワードの情報が含まれているため、URLを共有するだけで参加者は簡単に入室できます。

また、カレンダー連携機能を使用すると、GoogleカレンダーやOutlookカレンダーに直接会議予定の追加も可能です。

これにより、参加者は自動的に会議の通知を受け取ることができます。

Google Meetの体験　ーミーティングの設定ー

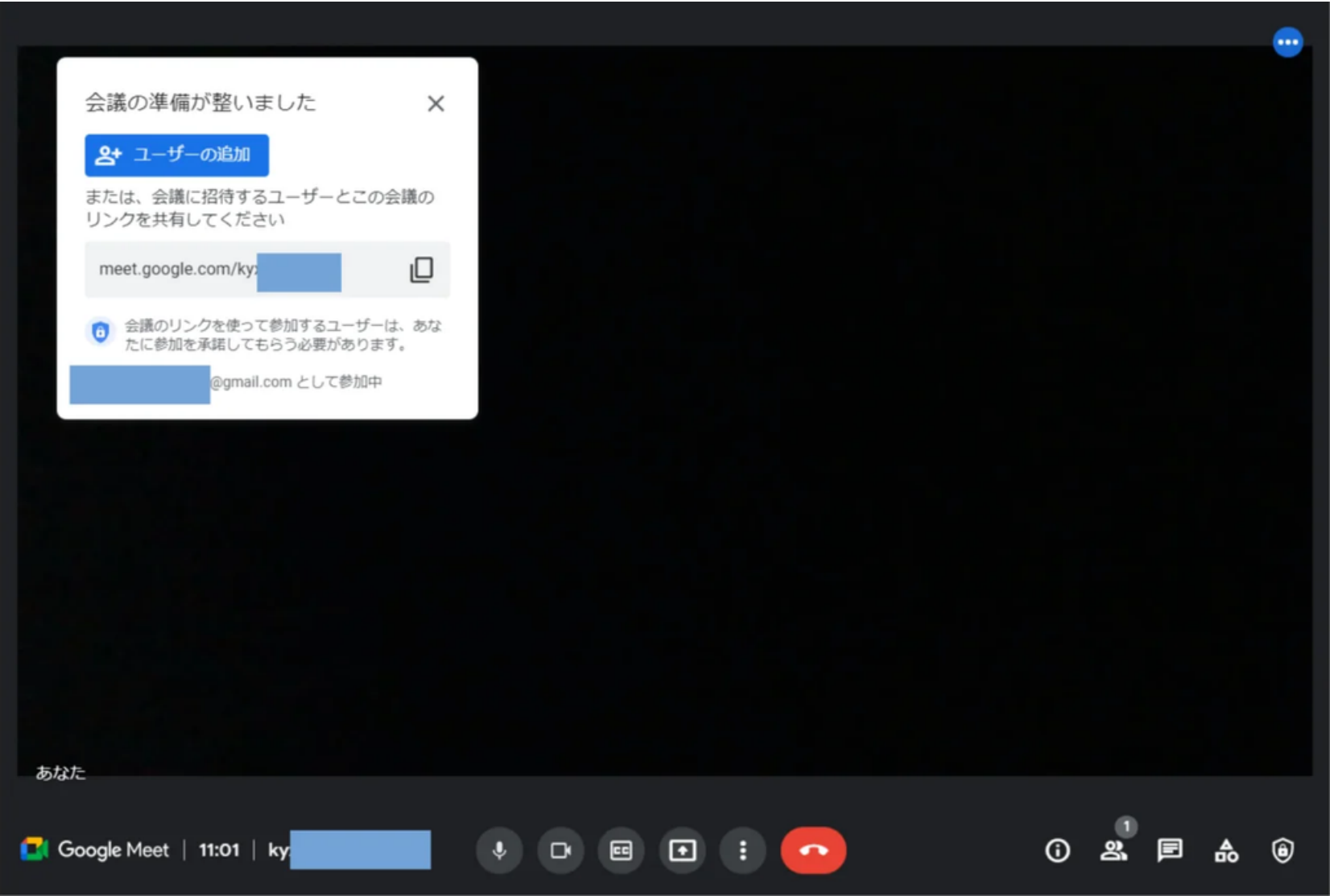
1.会議を主催してURLを配布する方法
Google Meetで会議を主催する場合は、Google アカウントが必要です。
事前に作成したGoogle アカウントでログインしましょう。
次に、Google MeetのWebサイトで「新しい会議を作成」をクリックします。

続いて会議に参加する参加者を招待しましょう。
ここではURLをクリックすれば一発で会議参加が可能な共有URLを送る方法と、ユーザーを指定して招待を送る方法の二通りがあります。



Google Meetの体験　ーミーティングの設定ー

参加者の招待が完了したら会議を開始しましょう。
先に会議室に入って参加者を待つイメージです。



イノベーション人材マッチング支援センターについて

「イノベーション人材マッチング支援センター」

あらゆる人材の流動化を促すことで、求職者と企業のニーズを効率的にマッチング



官民連携による人材マッチング支援を目指します。単なる職業紹介に留まることなく、国家戦略特区制度「官民の垣根を越えた人材移動の柔軟化」などの活用も視野に入れ、他にはない魅力的なセンター運営を行います。

①：「スタートアップ企業を中心とした人材マッチング支援」

・国家戦略特区特例メニューを活用した人材マッチング

市内及び市外スタートアップに対して、本センターの活用及び登録を促し、市職員等を中心とした人材のマッチング機会を創出します。公務員等の専門的知見・スキルを有する人材をマッチングすることにより、スタートアップの成長を支援します。

・スタートアップ企業への求職者とのマッチング

本施設に相談に来た求職者とスタートアップ企業への橋渡しを行います。

さらに希望する企業に対しては、ブランディングや、PR動画作成などのプロモーション支援も実施いたします。

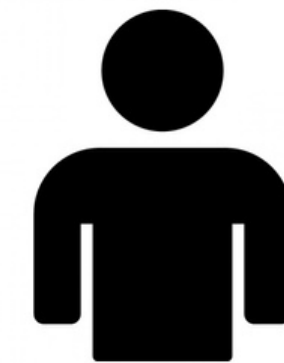
②：「学生と企業の人材マッチング支援」

高校、大学ではインターンシップ受入企業の開拓や、受入開始に至るまでの調整に多くの労力が必要などの課題があります。一方で、企業は優秀な学生の発掘、自社PRの方法がわからない、時間を割くことができないなどの課題があります。イノベーション人材マッチング支援センターでは、優秀な学生の市外流出を防止する環境への貢献を目指します。

官民の垣根を超えた人材移動の柔軟化

※登録された企業が一定の要件を満たせば、国家戦略特区の
所得税控除の対象になります。

国家公務員(勤続3年以上)



スタートアップ企
業
(創業5年以内)

官庁に再採用



規制改革の内容

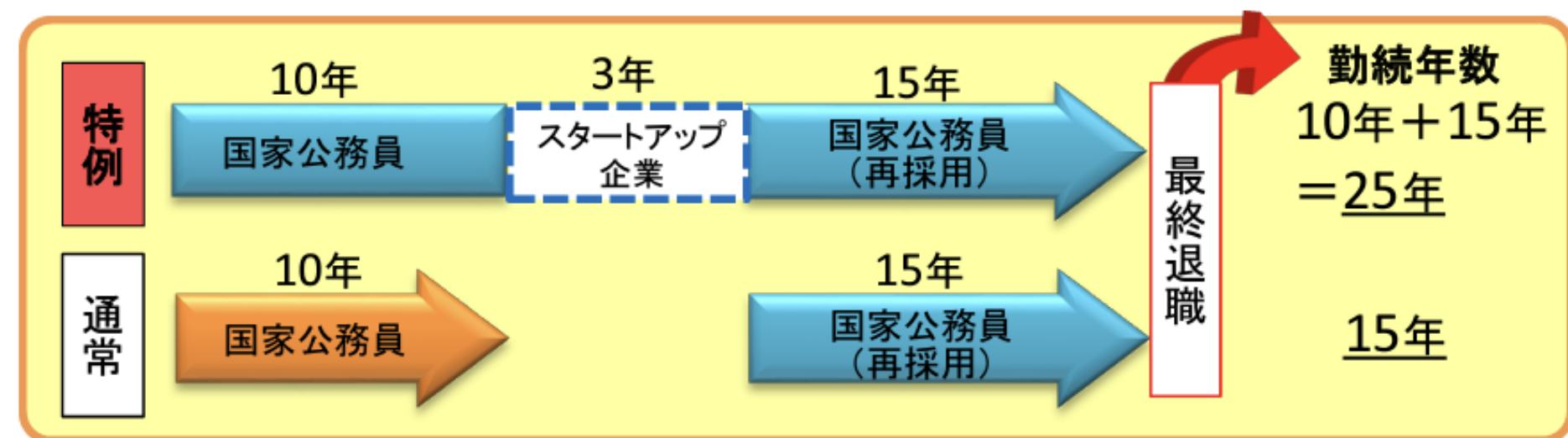
- ・ スタートアップ企業の課題は、質の高い人材確保
- ・ 退職した国家公務員が、再び採用された場合、退職手当の算定に係る「勤続年数」は再採用の時点から起算

- ・ スタートアップ企業に採用後、再び国家公務員として採用された場合（3年以内）、「勤続年数」は退職前の国家公務員の期間を通算
- ・ スタートアップ企業と人材をマッチングする「人材流動化センター」を設置



創業者の人材確保を支援

【最終退職時の退職手当の算定に係る勤続年数】



※より詳しい内容については、北九州市特区担当にご確認ください。

具体的取り組み①



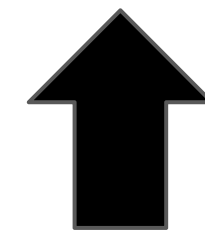
KIC主催のeスポーツ企業交流会

ゲームを通じて企業交流！！をテーマにeスポーツ企業交流会を開催。
ゲームタイトルには大人気ゲーム「ぷよぷよeスポーツ」を使用し、
企業・団体であればどなた（ゲーム未経験者など）でも無料で参加できる環境
を整えました。

開催頻度：2ヶ月に1回

参加企業数：10社～15社/ 1回

参考：https://www.youtube.com/watch?v=RU_uem3_eks



**市内の大学・高校と連携し、
学生が運営スタッフとしてイベントに参加。
企業と学生のタッチポイントの創出、マッチン
グを生み出します。**

具体的取り組み②

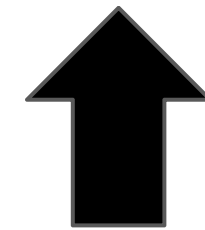


定期的なメルマガ配信

KICではこれまでご挨拶させていただいた皆様に、KICのサービス紹介、活用事例、イベント情報などを「北九州イノベーション通信」と称して定期的なメルマガ配信を行います。

配信頻度：月1回

配信対象数：約715社(約1,250名) 2025.9月時点



メルマガにてマッチング支援についての内容を配信。

法人もしくは個人単位での登録を促し、マッチング支援を行います。